

◆(瀨上陽一君) 皆さんおはようございます。登壇を許されました山鹿市選出・自由民主党の瀨上陽一でございます。

昨年4月に初当選をさせていただき、県議会議員として歩き始めたばかりの1年生でございます。何とぞよろしくお願いを申し上げます。本日、初当選後1年にも満たない私に質問の機会を与えていただきました先輩議員並びに同僚議員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

質問に立つことが決まりまして以来、潮谷知事の県政運営に対するお考えを直接お尋ねできる初めての機会ということで、緊張の中で準備を進めてまいりました。しかし、潮谷県政に対する私の質問は、これが最初で最後になるわけでありまして、いささか複雑な思いを抱きながら、今この場に立っております。

顧みますと、潮谷知事におかれましては、私の半分にも満たないと思われる小さなお体で、8年の長きにわたって、24時間365日、183万県民に対する重い責任を背負い続けてこられました。その献身的な御努力と御功績に対し、心より敬意と謝意を表しますとともに、最後の一日まで持ち前の全力投球を貫かれまして有終の美を飾られますよう祈念を申し上げます。

では、質問に移らせていただきますが、1つお断りを申し上げます。

思いますに、県議会における質問と申しますと、先輩議員の皆様方のように、県政全般を大所高所から見渡した上で、県民の皆様の関心が高く政策的な手当てが必要な問題について、執行部のお考えをお尋ねする場であろうと存じます。しかし、1年生議員として勉強中の私は、残念ながらそのような見識を持ち合わせておりません。

つきましては、地元山鹿市の自分の身近で起きているさまざまな問題の中で、山鹿のみならず、県全体に広がりを持つであろうと思われる案件を取り上げ、質問させていただきたいと存じます。

何分ふなれでございます。お聞き苦しい点は御容赦を賜りまして、どうかよろしく御答弁をいただきますようお願いを申し上げます。

最初に、菊池川流域の活性化に向けての観光振興についてお伺いいたします。

九州新幹線の全線開業が3年後に迫り、その効果を最大限に生かすために、行政、民間一体となって、さまざまな準備が進められております。

その中で、菊池川流域の市と町が、観光振興の起爆剤として、一日も早い実現を待ち望んでいる重要な案件がございます。それは、山鹿市菊鹿町を中心として、菊池市に広がる国指定史跡鞠智城跡の国営公園化であります。

本件につきましては、私の郷土の大先輩古閑三博先生が、昨年2月議会における最終登壇の中で、多くの時間を割いてその熱い思いを語られたことは、皆様御記憶のとおりでございます。

潮谷知事には、昨年、年頭会見において、鞠智城の国営公園化を目指すとの決意を述べられ、続く2月の期成会設立に当たっては、会長に御就任いただきました。

こうした熊本県を挙げての御支援を得て、昨年は、国営公園の所管官庁である国土交通省に対し、繰り返し要望が行われ、加えて、県選出国會議員の先生方に対する協力要請の陳情も重ねられました。

6月、熊本県と姉妹関係にある韓国・忠清南道の李完九知事が御視察の折、韓国で失われた百済文化が異国の鞠智城に残っていたと感激されたことが縁となって、10月には、熊本県立装飾古墳館と韓国・忠清南道の百済歴史文化館との間で姉妹提携の調印を行うに至りました。

これは、鞠智城の貴重な歴史的価値を証明するとともに、古きをたずねて新しきを知る日韓友好の新しい姿を示す大変意義深い提携であると存じます。

秋には、県と山鹿、菊池両市により、鞠智城の知名度アップを目指した講演会、シンポジウムが連続して開催され、好評を博しました。

11月5日、皇太子殿下におかれましては、鞠智城への行啓を賜り、御視察の栄に浴しました。

そして、12月1日、公明党議員団のお骨折りをいただいて、冬柴国土交通大臣による現地視察が実現し、直接要望を行うことができました。その際、大臣より、来年度の調査費に対する国庫補助について確約をいただきました。

今年に入りましてからも、国會議員の先生方による国営公園化に向けての活動が活発化しており、まことにありがたい限りでございます。

県は、平成6年度以来、学術調査に基づいて鞠智城跡の歴史公園化に取り組んでおられますが、その県事業を受け継ぐ形で国土交通省による大規模な国営公園づくりが実現しますと、復元建物を含む公園施設は飛躍的に充実し、鞠智城跡は全国に知れ渡り、観光資源としても不動の存在となります。

それにより、新幹線新玉名駅を新しい玄関口として、全国からの修学旅行生、団体観光客、韓国人旅行客の誘致を初めとする観光振興を初めとして、地域産業全体の発展に多大なる波及効

果を及ぼすことが期待されます。

このような意義を見据え、全国屈指の古代文化遺産に恵まれた菊池川流域の観光資源を最大限に生かすためには、これらをつなぎ合わせる巡回型歴史ロードの設定が最も効果的であります。その中心は、鞠智城跡をおいてないと考えます。

古閑三博先生の後を受け、山鹿市で議席をいただきました、私、淵上陽一も、微力ながら鞠智城国営公園化の早期実現に向けて全力を投じる決意でございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

つきましては、国営公園化推進活動の先頭に立ってこられた潮谷知事に、現在までの成果を踏まえ、今後の運動の進め方について、お考えをお聞かせいただきたいと存じます。

また、国営公園化の実現には、何と申しまして、地元熊本県において、その機運を盛り上げることが重要でありますので、その一つとして、歴史、文化両面で貴重な史跡である鞠智城を、子供たちの教育の中で活用していただけないか、教育長のお考えをお尋ねいたします。

〔知事潮谷義子さん登壇〕